

令和3年第2回(6月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

表 題	令和3年第2回(6月)定例会 一般質問通告書について																																																			
内 容	<p>6月14日(月)から行われる、令和3年第2回(6月)定例会における一般質問について、22人の議員から通告書の提出がありました。</p> <p>各日の質問予定者氏名、順番、内容は以下のとおりです。</p> <p>なお、各日の質問予定者は、変更になる場合があります。</p> <p>●各日の質問予定者</p> <table border="1" data-bbox="424 595 1125 1729"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>順番</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">6月14日 (月)</td> <td>1</td> <td>杉田 勝典</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>滝沢 一成</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>橋本 洋一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>高橋 浩輔</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>中土井 かおる</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>山田 忠晴</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">6月15日 (火)</td> <td>7</td> <td>牧田 正樹</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>石田 裕一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>宮川 大樹</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ストラットン 恵美子</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>こんどう 彰治</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>小山 ようこ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">6月16日 (水)</td> <td>13</td> <td>宮崎 朋子</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>波多野 一夫</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>鈴木 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>上野 公悦</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>高山 ゆう子</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">6月17日 (木)</td> <td>18</td> <td>大島 洋一</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>安田 佳世</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>橋爪 法一</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>平良木 哲也</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>宮越 馨</td> </tr> </tbody> </table>	日	順番	氏名	6月14日 (月)	1	杉田 勝典	2	滝沢 一成	3	橋本 洋一	4	高橋 浩輔	5	中土井 かおる	6	山田 忠晴	6月15日 (火)	7	牧田 正樹	8	石田 裕一	9	宮川 大樹	10	ストラットン 恵美子	11	こんどう 彰治	12	小山 ようこ	6月16日 (水)	13	宮崎 朋子	14	波多野 一夫	15	鈴木 めぐみ	16	上野 公悦	17	高山 ゆう子	6月17日 (木)	18	大島 洋一	19	安田 佳世	20	橋爪 法一	21	平良木 哲也	22	宮越 馨
日	順番	氏名																																																		
6月14日 (月)	1	杉田 勝典																																																		
	2	滝沢 一成																																																		
	3	橋本 洋一																																																		
	4	高橋 浩輔																																																		
	5	中土井 かおる																																																		
	6	山田 忠晴																																																		
6月15日 (火)	7	牧田 正樹																																																		
	8	石田 裕一																																																		
	9	宮川 大樹																																																		
	10	ストラットン 恵美子																																																		
	11	こんどう 彰治																																																		
	12	小山 ようこ																																																		
6月16日 (水)	13	宮崎 朋子																																																		
	14	波多野 一夫																																																		
	15	鈴木 めぐみ																																																		
	16	上野 公悦																																																		
	17	高山 ゆう子																																																		
6月17日 (木)	18	大島 洋一																																																		
	19	安田 佳世																																																		
	20	橋爪 法一																																																		
	21	平良木 哲也																																																		
	22	宮越 馨																																																		

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	
26 番 杉 田 勝 典	<p>1. 孤独や孤立の対策について</p> <p>(1) 国は、孤独・孤立対策担当大臣を設置し、孤独・孤立対策に本格的に乗り出した。市における孤独・孤立対策の取組を聞きたい。また、市と市民団体とのつながりや市民団体同士のつながりが解決への後押しをすると考えるがどうか。</p> <p>2. 輸入木材の高騰への対応と上越市産材の利用促進について</p> <p>(1) 輸入木材の高騰のあおりを受け、全国的に木材の調達が困難となっている。上越市産材の供給の状況はどうか。あわせて、中長期的な観点から上越市産材の計画的な供給を図るため、先端技術の活用を含めた安定供給体制の構築をはじめ、公共建築物への積極的な活用やC L T (直交集成板) の利用促進を図るべきではないか。</p> <p>3. 地域課題解決へのドローン有効活用推進について</p> <p>(1) ドローンには、防災をはじめ生態系や耕作放棄地等の調査、市のPR動画撮影など様々な活用方法があるが、市民サービスの向上や様々な地域課題解決のために、市職員による部局横断的なプロジェクトチームを結成してはどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
2	
21 番 滝 沢 一 成	<p>1. 公園等の管理について</p> <p>(1) たにはま公園、金谷山公園及び心のふるさと道、船見公園、春日山大手道、高田城址公園など、上越市は魅力的な公園等を有しているが、どこも管理が行き届いているとは言い難い。これら市民の財産である公園等の管理について、根本的にどのような思想を持っているのか。</p> <p>2. 雪対策について</p> <p>(1) 令和3年3月定例会において、昨冬の豪雪を踏まえ、さまざまな調査・研究、あるいは検討等を行うと答弁があった。以下の点において、その後どのように進めているか聞きたい。</p> <p>ア 町内会と連携した除排雪作業の仕組みづくりや支援制度について</p> <p>イ 生活道路除雪についての地元との話し合い、認識共有について</p> <p>ウ 除雪オペレーターの人材確保及び燃料確保について</p> <p>エ 一斉屋根雪下ろしにおける事業者の確保、地域共助、ボランティアへの備えについて</p> <p>オ 適切な情報発信について</p> <p>カ より効率的な歩道除雪の実施と、それに伴う国・県との更なる連携について</p> <p>キ 上越市消融雪施設整備計画の前倒しについて</p> <p>(2) 市道に敷設されている消雪パイプについて、沿線住民の負担があるところとなるところがある。長年の取組の中で生じたことではあるが、平等性に鑑み、整理に着手すべきではないか。</p> <p>3. 少年少女が音楽に触れる機会の拡充について</p> <p>(1) 近年全国の様々な都市で、少年少女を対象としたジュニアオーケストラ、ハイブリッドオーケストラ等を行政や関係機関が運営し、音楽に触れる機会の拡充、教養としての音楽教育を推進する例が増えている。そうしたことを上越市も検討する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	
15 番 橋 本 洋 一	<p>1. 消防団員の処遇改善について</p> <p>(1) 本年4月15日付けで、新潟県防災局長から市町村長宛てに「消防団員の報酬等の基準の策定等について」という通知文が発出されており、この中で、年額報酬や出動報酬等の基準策定、直接支給の徹底など消防団員の処遇改善について、今年度中に見直し、必要な条例改正や予算措置を行うよう求めているが、当市の現状と見解について聞きたい。</p> <p>2. 自主防災組織の初期消火活動について</p> <p>(1) 本年3月23日付けで、市から町内会長宛てに一般市民が消火栓を使用しないよう通知されているが、その理由について聞きたい。また、常備消防が現場に到着するまでには一定の時間を要することから、市民の生命、身体、財産に危険が及ぶような緊急の場合においては、自主防災組織の初期消火活動として消火栓を使用できるよう消防団OB等の活用・訓練の実施などを求めていく必要があると考えるが、どうか。</p> <p>3. 避難情報の発信について</p> <p>(1) 災害対策基本法の改正や避難情報に関するガイドラインの改定による新たな避難情報等の運用が始まっているが、避難情報発令の内容や伝達手段など市民への周知が課題と考える。当市の対応について聞きたい。</p> <p>4. 校庭設備の安全管理について</p> <p>(1) 本年4月、宮城県白石市で校庭の防球ネットの支柱が折れて児童が死亡するという事案が発生した。当市における支柱や遊具等校庭設備の安全管理の実態はどうか。また、市が把握している過去3年間の校庭設備の修復事例について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
4	<p>1. 高田地区の雁木の維持・保存及び活用について</p>
5 番 高 橋 浩 輔	<p>(1) 高田地区の雁木は開府以来脈々と受け継がれてきたが、近年は人口減少や高齢化、中心市街地の空洞化等により、厳しい状況に置かれている。住民団体が行った意向調査によると、9割の住民が今後も雁木の保存活動が必要と回答しているものの、平成12年度には14.5kmであった総延長が平成29年度には12.8kmにまで縮小している。この現状をどのように捉えているか聞きたい。</p> <p>(2) こうした状況に鑑み、市は平成15年に「雁木の保存と活用に関する基本方針」を策定し、翌年「雁木整備支援制度」を施行した。このほかにもこれまで様々な取組を行ってきたが、これまでの取組や、その成果と課題をどのように総括するか聞きたい。加えて、それらを踏まえたこれからの維持・保存のための取組について聞きたい。</p> <p>(3) 平成30年8月21日付けで高田区地域協議会から提出されている意見書で「歴史的文化的遺産である雁木の大切さを認識してもらい、後世まで残していくという市民の機運を高めるため、市として『雁木の保存宣言』を行うこと」という提案がなされた。宣言等を行うことにより、市としても「残していく」という意思表示を明確にすることは、雁木保存の主体である市民の機運や意識を高めることに大いに資すると考えるがどうか。</p> <p>(4) 現在、南本町三丁目で行われているモデル的な取組で得られた知見を共有し、他の地域に広げていく考えはないか聞きたい。</p> <p>(5) 市の「雁木の保存と活用に関する基本方針」では、雁木を「本市の貴重な地域資源」と位置づけているが、地域資源とはどのように捉えているか。それを踏まえ、これまでの経緯も含めて今後どのように雁木をいかしていくのか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	<p>1. 子どもの孤立対策と心のケアについて</p> <p>(1) 警察庁の発表では、令和2年の子どもの自殺者数は1980年以降で最多の499人に上ったことが分かった。自殺予防を含め、心のケアの必要性がより一層高まったと考えるが、当市における子どもの心の相談の状況及び対応状況はどうか。</p> <p>(2) 上越市自殺予防対策推進計画においても位置付けられているようにゲートキーパーの役割が重要と考えるが、当市におけるゲートキーパーの普及の現状と今後の普及促進についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 近年の子どもが抱える課題は多岐にわたる。課題解決のためには様々なサポート体制が必要であり、関係者との連携や調整を図るスクールソーシャルワーカーの必要性が高まっていると考えるが、当市ではどう考えているか。</p> <p>(4) 昨年、厚生労働省は、子どもの7人に1人が貧困状態にあると発表している。貧困による孤立を防ぐために、こども食堂などの居場所づくりの立ち上げ、運営を支援していく必要があると考えるがどうか。</p>
8 番 中 土 井 か お る	<p>2. 学校現場における福祉教育の推進について</p> <p>(1) 当市では、障害のある人が学校へ出向いて、パラリンピック種目のスポーツ等を通じて子どもと交流している。共生社会の推進に向け、子どもが障害のある人と交流することが重要と考える。このような福祉教育を進めていく考えはあるか。</p> <p>3. 避難行動要支援者の避難体制の構築について</p> <p>(1) 災害対策基本法の改正により避難行動要支援者の個別避難計画の作成が自治体の努力義務となった。当市においては、既に個別避難計画を作成していると承知しているが、作成に当たっては、認知機能や身体機能の状況を把握している福祉専門職の参加が有効と考えるがどうか。</p> <p>(2) 災害時、母子や妊産婦を災害弱者と位置付け、安心して避難できるよう、心身の安全が確保される母子避難所の開設が必要と考えるがどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
6	<p>1. 当市の熱中症対策について</p>
11 番 山 田 忠 晴	<p>(1) 当市の熱中症対策に関する市民への注意喚起や、普及啓発の取組について聞きたい。</p> <p>(2) 熱中症対策のための水分補給の効果をどのように認識しているか聞きたい。</p> <p>(3) 熱中症対策は「こまめに水分を補給する」ことが有効である。公共施設にある水道は、直結給水方式と学校等で見られる高架水槽給水方式が用いられているが、各施設における給水方式の現状と水温管理の状況を聞きたい。</p> <p>(4) 近年、熱中症対策のため、公共施設に誰でも飲みやすい冷水機を設置している自治体がある。当市における公共施設の冷水機の設置状況と、今後の設置計画を聞きたい。</p> <p>2. 当市の「ヤングケアラー」の現状と今後の取組について</p> <p>(1) 厚生労働省と文部科学省が令和2年12月から令和3年1月にかけて公立の中学校及び全日制高校の2年生や通信制高校の生徒らを対象に実施した全国調査では、中学生5.7%、高校生4.1%が世話をする家族が「いる」と回答した。当市におけるヤングケアラーの実態と現状をどのように分析しているか聞きたい。</p> <p>(2) 厚生労働省と文部科学省は、ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチームを立ち上げ、現状や課題、今後取り組むべき施策をまとめた。当市も福祉部と教育委員会が連携して専門窓口の開設や教職員への研修を行い、子どものSOSをしっかりとキャッチする考えはないか。また、教育委員会と市内22の中学校区に組織されている「上越市地域青少年育成会議」が連携し、ヤングケアラーの早期発見と支援に取り組む考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
7	
12 番 牧 田 正 樹	<p>1. ヤングケアラーについて</p> <p>(1) 市立学校の児童生徒のヤングケアラーの実態をどう把握しているか。また、どのように対応しているか。</p> <p>(2) ヤングケアラーの早期発見・支援強化・課題解決のため、以下の観点と取組の強化が必要と考えるがどうか。</p> <p>ア 実態把握のため、市立学校の児童生徒を対象にした、ヤングケアラーの実態調査の実施</p> <p>イ 早期発見と適切な対応を行うため、教職員・行政・介護・福祉・医療・児童委員などの関係機関の職員に対する周知や研修</p> <p>ウ ヤングケアラーの相談窓口の周知やオンライン相談などの充実</p> <p>エ 市要保護児童対策地域協議会などを活用した関係機関の連携強化</p> <p>オ ヤングケアラーの市民への周知</p> <p>2. 市施設への自動販売機設置における障害者優先調達について</p> <p>(1) 障害者優先調達推進法が施行されて8年となるが、市施設への自動販売機設置に関して、当市のこれまでの実績はどうか。今後、積極的な導入を図っていく考えはないか。</p> <p>3. 介護施設の現状と課題について</p> <p>(1) 現在の特別養護老人ホームの入所・待機状況はどうか。</p> <p>(2) 職員不足を理由に、特別養護老人ホームが稼働できていない状況はあるのか。</p> <p>(3) これまでの人材確保策の総括と今後の課題、対策について聞きたい。</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症に対応する職員の健康管理等について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に関する業務は、短時間に多くのことをこなさなければならず、また精神的にも大きな負担がかかっている。担当職員の健康管理についてどのように行っているか。また、職員の感染拡大防止に向けた執務環境の整備にどう取り組んでいるか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
8	<p>1. 委託見積について</p> <p>(1) 市では、年度当初から開始する業務委託について、新年度に入る前に見積合せを行い、業者を決定しているが、結果は見積提出締切後 14 日程度を目安に内定者のみに連絡するとしている。また、指名業者や結果について、4 月になるまでは回答できないとしているが、委託業者においては、4 月から業務を開始する準備を整えて見積合せに参加しているため、内定されなかった業者は困ることになる。見積提出締切後 14 日程度を目安に内定者のみだけでなく、内定にならなかった業者にも連絡する必要があると考えるがどうか。さらに、見積提出締切後 14 日程度ではなく、より早く結果を示す必要があると考えるが、市では見積業者への配慮についてどのように考えているか。</p> <p>2. 市に対し支援・協力を求める外部団体への対応について</p> <p>(1) 市は、外部団体が「共催」及び「後援」を申請した場合は積極的に協力しているが、「共催」及び「後援」以外の申出の場合、対応が厳しいことがある。市民が活動することへの支援・協力について、どのように考えているか聞きたい。</p>
18 番 石田裕一	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
9	<p>1. 政策決定のプロセスについて</p> <p>(1) これまで市では政策決定の過程において、市民の議論が巻き起こり「市民の声をもっと聞いてほしい」といわれた案件がいくつも存在する。市民の声をできる限り政策決定に取り入れていることとは思うが、下記の政策についての決め方や現状の進捗、今後の見通しについて聞きたい。</p> <p>ア 上越地区における広域最終処分場の決め方と市の関わり方について</p> <p>イ 保倉川放水路計画の進捗について</p> <p>ウ 四・九の市の出店場所の集約における当該町内への説明について</p> <p>(2) 政策決定に際して市として心がけていることを聞きたい。</p>
10 番 宮川大樹	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
10	<p>1. マイナンバーカードの申請状況及び今後の運用について</p> <p>(1) 総務省がマイナンバーカード普及促進のために導入したマイナポイントについて、マイナポイントの対象となるマイナンバーカードの申請受付期間が約1か月延長されたことにより、上越市内のマイナンバーカード申請は進んだか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一つである、特別定額給付金申請時のオンライン申請「マイナポータル」の利用状況はどうだったか。マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになり、運転免許証との一体化実現も、国は当初の目標を前倒して2024年度末にと掲げた。今後、上越市において、マイナンバーカードをどのように利用促進していくのか。その場合における現段階での課題は何と捉えるか。</p>
4 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p>2. 上越市内の幼児に対する英語言語による情操教育及び小学校低学年の英語教育の普及について</p> <p>(1) 上越市内の幼稚園、保育園の一部では、歌や絵本の読み聞かせなどの年齢にあった遊びながらの楽しい英語言語による情操教育を取り入れている。上越市の外国人登録者数が確実に伸びている中、上越市内の幼児に対する英語言語による情操教育を普及させていくことは、上越市内の子どもたちへの英語言語習得促進につながると考えるが、見解はどうか。</p> <p>(2) 英語言語を習得した幼稚園、保育園児童が小学校へ入学しても、現在の学習指導要領では、小学校1・2年生の外国語活動及び外国語の授業は無いため、この2年間英語に触れる機会が持てない。幼少期は、一般的に感覚的吸収力が優れているので、日本語にはないアルファベットの音、フォニックス(Phonics)を習得するのに絶好の時期とも言えるが、外国語活動の早期導入として市独自で市内小学校低学年から英語教育を取り入れる意向はないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
11	<p>1. 上越市公の施設の適正配置計画に基づくスポーツ施設の整備について</p>
30 番 こ ん ど う 彰 治	<p>(1) 令和3年度から令和12年度までの適正配置計画が示された。数多くある公の施設の適正配置計画において、合併前上越市のスポーツ施設の計画に沿った取組などについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 野球場に関しては、9施設のうち7施設が建築後30年以上経過しており、施設や設備の老朽化が進み、今後、多額の修繕費の発生が懸念されるとして、7施設が現状維持とされ2施設が廃止などとされている。新たに新野球場建設が要望され、報道では前向きに検討するとしているが、今回の計画に提案されておらず、考えを聞きたい。</p> <p>イ 高田城址公園陸上競技場において、ホームストレッチのスタンドが改修されたが東側のスタンドしか改修されておらず中途半端な状態である。今後、西側のスタンドを改修する考えは無いか聞きたい。</p> <p>ウ 高田城址公園内にあったソフトボール場は、清里スポーツ公園内に機能を移転したが、より市街地に近いやぶの川辺公園(多目的広場)内にソフトボール専用施設を整備する考えは無いか聞きたい。</p> <p>2. 金谷山公園について</p> <p>(1) 金谷山公園においてはスポーツ施設やレジャー施設などが整備されている。新たなスポーツ施設や観光施設の整備について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 現在、金谷山スーパーボブスレー、BMX場などが整備されているが、クロスカントリーコースやマウンテンバイクコースなどの整備をする考えはないか。</p> <p>イ 儀明川ダムの本体工事が令和7年頃着手とされている。金谷山公園からの展望も望めるものと考えているが、観光ルートの一環として整備する考えはないか。</p> <p>3. 昨冬の豪雪災害の検証について</p> <p>(1) 令和3年3月定例会では、多くの議員から豪雪災害に関する質問があった。現在進められている検証作業について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 課題となっている狭隘道路や生活道路などに係る除雪費の支援制度の検討状況について聞きたい。</p> <p>イ 市と県の歩道除雪の出動基準について、令和3年3月定例会における一般質問では、除雪業者が臨機応変に対処すると答弁があった。出動基準は統一すべきと考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
12	
2 番 小 山 よ う こ	<p>1. いじめと体罰の現状と対応について</p> <p>(1) 当市において、いじめ、体罰の定義をどのように児童生徒等に周知しているのか。また、いじめや体罰が原因で、不登校になっている児童生徒はいるか。</p> <p>(2) 学校内で起こっていることは身近で大事なことであり、問題一つ一つに児童生徒が向き合っていくためにも、学校内でのいじめのアンケート調査の結果を公表すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 学校外でのいじめについてどのように把握しているのか。</p> <p>(4) 各学校において、体罰に関するアンケート調査を実施しているが、現代の状況にあった様式や調査方法、内容に変更すべきと思うがどうか。</p> <p>(5) 体罰と懲戒をどのように区別しているのか。また、学校内で教員からの体罰があった場合、どのように対応していくのか聞きたい。</p> <p>2. G I G Aスクールについて</p> <p>(1) 令和3年4月から小中学校で始まったG I G Aスクールの取組について、各学校の進捗状況を聞きたい。</p> <p>(2) G I G Aスクール端末の利用について、保護者への説明が書類のみの学校もあるが、実際に各学校で学習方法などの説明会をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 市では、G I G Aスクール端末を「当面、日常的な持ち帰りはしない」としている。端末を持ち帰り、自宅などで活用することは有効であると考えているがどうか。</p> <p>(4) G I G Aスクール端末の入替えと廃棄のサイクルを今のうちに確立しておく必要があると考えるが、市ではどのように考えているのか。</p> <p>3. 市民の交通安全に対する意識について</p> <p>(1) 新潟県において、信号機のない横断歩道で一時停止している車は、JAFの調査結果によれば49.4%にとどまっている。歩行者の安全を確保するために、市民に歩行者優先のステッカーを配布し、歩行者優先に対する啓発活動をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 自転車利用者に損害賠償保険への加入を義務付ける動きが加速している。当市においても万一に備え、自転車を利用する市民への損害賠償保険を義務付けることが必要と考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
13	<p>1. 上越市が取り組む「若手社員定着支援事業」について</p> <p>(1) 6年間で取り組んできた中での課題は何か。また、若者の就労意識が変化する中で、事業の方向性をどのように考えていくのか。</p> <p>(2) 今後下記のような多方面からの支援が必要と考えるが、市としての考えはどうか。</p> <p>ア 子どもたちが、幼少期からビジネスや経済を学ぶ機会を提供する企業や団体への支援</p> <p>イ 産業医や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント等の必要性の周知</p> <p>ウ 経営者向け若手社員定着セミナーの実施</p> <p>2. 昨冬の大雪災害の経験を次にいかす制度の提案について</p> <p>(1) 農業における自然災害等のリスク軽減のために、農業版BCP(事業継続計画書)を活用すべきと考える。市では従事者に向けて、農業版BCP(事業継続計画書)の活用をどのように考えているか。</p> <p>(2) 民間事業者(特にサービス業等)の駐車場等における除排雪費が例年以上にかかり、経営が圧迫された事業所も多い。今後、条件付き除排雪費補助制度や融雪設備工事費補助制度など、雪国ならではの支援制度の創設を望むが、市が取り組めることは何か。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
14	<p>1. 保倉川放水路整備について</p> <p>(1) 保倉川放水路の概略ルートが発表され、先般地元への説明会をはじめ市民に向けた新聞報道が行われた。現在、整備に向けた各種現地調査が行われているが、今後の具体的なルートの提示や全体的なスケジュール等の見通しについて聞きたい。</p> <p>(2) 以前から放水路整備と併せ、地域のまちづくり構想の提示が必要不可欠と訴えてきた。これまでの答弁では、市が主体となって調整を進めるとしているが、現在のまちづくり構想はどこまで進んでいるのか。</p> <p>2. 市営夷浜住宅の整備について</p> <p>(1) 市営夷浜住宅は、建設当時から相当の年月が経過しており、老朽化が大変激しい。以前から市の説明では、現在の建物はいずれ解体するとしているが、空いている棟はいくつかあり、現状のままでは防犯や安全面の観点からも大変危惧される。空いている棟の解体など今後の整備方針について聞きたい。</p>
22番 波多野一夫	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
15	<p>1. 市内のこども食堂等への支援について</p> <p>(1) 報道等によれば、コロナ禍で子どもの貧困が加速していると指摘されている。市内の直近の児童扶養手当の受給者数はどうか。また、こども食堂等にスピード感を持った支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 空き家対策について</p> <p>(1) 空き家及び特定空き家の増加は様々な要因が関係している。令和3年4月に、第2期上越市空き家等対策計画が策定されたが、適切な管理がされていない空き家等の解消に向け、市としてどのような政策方針で取り組んでいくのか。</p>
3番 鈴木 めぐみ	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
16	<p>1. 柏崎刈羽原子力発電所について</p> <p>(1) 東京電力ホールディングス株式会社と新潟県内7市町の首長との新安全協定締結を目指す新潟県内の市議で構成する「柏崎刈羽原子力発電所30km圏内避難準備区域(UPZ)議員研究会」は、UPZ圏内住民にアンケート調査を行うと同時に、UPZ圏内自治体に「事前了解」や「適切な措置要求」などの権限を加え、また「IDカード不正使用問題」などを受けて「情報公開・通報連絡条項を強化」することなどを盛り込んだ新安全協定案をこのほど策定した。このことを踏まえ、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア アンケートへの回答では、原発から30km圏内に住んでいることに対して、70%近くが不安感を持っており、本アンケートの根幹となる「事前了解の必要性」についても81.4%が「必要」と答えている。このことに対してどう思うか。</p> <p>イ 立地自治体を除く28市町村は、東京電力ホールディングス株式会社と安全協定を自治体ごとに結んでいるが、立地自治体と違い原発の安全性に関する内容が盛り込まれていない。また、立地自治体のような再稼働に関する実質的な「事前了解権」も持っていない。UPZ圏内の7市町も立地自治体と同様の権限を持つ安全協定を結ぶことが必要と考えるが、市としてどう考えているか。</p> <p>2. 東京オリンピック・パラリンピックについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、国はオリンピック・パラリンピック開催を予定している。また、会場外で競技を大型スクリーンで中継するライブサイト・パブリックビューイングが全国250会場余りで計画されている。こうした状況の中、国民の7割以上が五輪の延期・中止を求め、ボランティアも既に1万人以上が辞退している。このことを踏まえ、以下の点を聞きたい。</p>
29番 上野 公悦	

- ア 教育長はこうした中でのオリンピック・パラリンピック開催についてどう考えているか。
- イ NHKのまとめでは、6月2日現在で事前合宿受入れや交流事業を中止した自治体数は102に上っている。当市でもドイツ体操チームの事前合宿受入れや交流事業を計画しているが、計画どおり行うのか。ドイツチームから予定などの連絡は入っているのか。

3. 「佐渡島(さど)の金山」の世界遺産登録に向けた当市の取組等について

- (1) 世界遺産登録は今夏に開かれる国の文化審議会で、本年度の国内推薦の可否が決まる見通しになっている。順当に推薦されれば2023年夏の世界遺産登録が実現する可能性が大きい。このことを踏まえ、以下の点を聞きたい。
- ア 西の玄関口としての上越市の役割をどのように考えているか。
- イ 世界遺産登録実現により、上越市や妙高市、糸魚川市などの観光の賑わいにも大きく影響してくる。佐渡市や近隣市との更なる連携強化が必要だがどのように考えているか。
- ウ 「佐渡島の金山」世界遺産登録による上越市の観光戦略にとって「小木直江津航路」は極めて重要な役割を持っている。佐渡汽船は新型コロナウイルス感染拡大で更に大きな影響を受け、昨年末時点の債務超過額は8億7,600万円だったが、今年3月時点では16億4,400万円にまで拡大している。そのような中、今後当市ではどのような対応をしていくのか。

4. 信越本線犀潟駅南口の開設について

- (1) 信越本線犀潟駅について、大潟区犀潟町内会総会で「犀潟駅南口の開設は長年の要望事項であり、実現に向けて引き続き要請していく」ことが決定された。JRに対する引き続きの働きかけなど市の対応について聞きたい。

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
17	
7 番 高 山 ゆ う 子	<p>1. 小中学校における男女同室等の着替えについて</p> <p>(1) 2000年代に入り、小中学校における男女同室での着替えが社会問題になり、2006年に国(文部科学省)は適切な対応を求めるよう学校側に通知したが、一部の現場ではいまだ改善されないままになっていると聞く。当市における現状と更衣室の設置状況、併せて国の通知に対する考えを聞きたい。</p> <p>2. 「子どもオンブズパーソン」制度の導入について</p> <p>(1) 子どもの権利を守り意見を尊重する制度として、子どもに関する相談や子ども自身が抱える様々な悩み(いじめ、差別、体罰、虐待、ヤングケアラー等)に対応する公的な第三者機関の設置を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>3. コロナ禍におけるフードバンクじょうえつの取組支援について</p> <p>(1) いまだコロナ禍の収束が見えない状況において、経済的困窮によるひとり親世帯の子どもたちの食糧難が問題となっている。フードロス無くし、食で命をつなぐ支援活動を行っているフードバンクじょうえつに対し、市として今後何らかの形で支援することはできないか。</p> <p>(2) 経済的困窮から女性が生理用品を買えない「生理の貧困」の訴えが全国で広がっている。県内の自治体では、妙高市や新潟市で低所得の子育て世帯に防災用備蓄品を活用した生理用品の無償配布が既に実施され、需要が高まっていると聞く。当市でもフードバンクじょうえつと協力し合い、防災用備蓄品を活用した生理用品の配布支援ができないか。</p> <p>4. コロナ禍における災害時の避難所対応について</p> <p>(1) 災害が発生した場合、避難所開設に当たる施設側の対応や町内会長と防災士の権限及び役割について聞きたい。</p> <p>(2) 各指定避難所の備蓄品の保管場所と備蓄数量について、市担当職員や町内会長は把握しているのか。また、保管状況や場所に問題はないか。</p> <p>(3) 現在、市の各指定避難所の開設は、想定避難者数を約1割程度として計画しているが、震度6から7程度の大地震が発生した場合はどう対応するのか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
18	<p>1. 保倉川放水路整備促進について</p> <p>(1) 保倉川放水路は、スピード感をもって整備する必要があると考えるが、これまでの取組と今後の見込みについて聞きたい。</p> <p>(2) 予定地となった住民に対しては丁寧な説明が必要と考える。また、放水路の整備により、東西南北全てが海や川に囲まれる地域が生じることから、万全の津波対策を講じる必要があると考えるがどうか。</p>
23 番 大 島 洋 一	<p>2. 豪雪対策について</p> <p>(1) 昨冬の豪雪対応の課題については、検証が進んでいると思うが、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 昨冬の豪雪を振り返れば、除排雪作業が進まなかった原因の一つには除雪オペレーターの不足が挙げられると思う。今後、除雪オペレーターの不足を補うためにも、除雪に関するICT化を進めるべきと思うがどうか。</p> <p>イ GPSを活用した除雪管理システムや除排雪機械力の向上について、今後、どのように取り組んでいくか考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
19	<p>1. 食育の推進について</p> <p>(1) 6月は、国が定める食育月間である。市では、食育月間に合わせた食育推進の啓発について、どのように取り組んでいるか。</p> <p>(2) 近年、食を巡る環境や社会情勢が大きく変化し、食に対する価値観や暮らしの在り方の多様化等が見られる。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、人々の食を含めた行動や意識も変化してきている。今年度は第4次上越市食育推進計画を策定することになっているが、このような現状を踏まえて、どのような方針で策定を行う予定か。</p> <p>(3) 生涯にわたる食育において、そのスタートとなる子どもの時の経験や学びは重要であると考え。小中学校の学校給食において、地産地消を推進すること、生産者と「顔の見える関係」を築くこと、上越の食文化や郷土料理を学ぶ機会とすることについて、より一層取り組んでいくことが、食育の推進や郷土愛の育成のために必要だと考えるが、どうか。</p>
1 番 安 田 佳 世	<p>2. なおえつ うみまちアートについて</p> <p>(1) 現代アートの展示やアートイベントの実施により直江津の賑わい創出を目指す「なおえつ うみまちアート」が、8月1日～9月26日に開催されることとなった。イベント実施に向けた事業の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 事業の実施により、観光客やイベントに関わるアーティストなどが市外から往来することになる。新型コロナウイルス感染症対策をどのように行う予定か。</p> <p>(3) 本事業は、地域住民が関与し、連携して取り組むことでシビックプライドの醸成を目指すものである。市民に向けた事業についての周知や、市民の関与を促すための取組をどのように行っているか。</p> <p>(4) まちの賑わい創出に向けて、観光や経済効果の観点からも、来訪者がまちを巡る仕掛けが重要であると考え。まちなか回遊を促すための取組をどのように行う予定か。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
20	
31 番 橋 爪 法 一	<p>1. 災害対策について</p> <p>(1) 災害対策本部を設置した場合、全体的な総括はどこで、どんなふうに行うのか、明らかにされたい。また、昨冬の大雪対策の総括について、現在までの到達点、終了時期の見込み、結果の公表時期を聞きたい。</p> <p>(2) 冬期生活安全・安心確保事業の改善、拡充についてどう考えているか。</p> <p>2. 介護施設での面会について</p> <p>(1) 市内の介護施設でのオンライン面会など「家族との面会の代替措置」はどこまで進んだか、今後の方針も含め聞きたい。</p> <p>3. 上越市公民館施設整備等について</p> <p>(1) 平成23年策定の上越市公民館施設整備計画は、計画期間の途中でなくなったとのことだが、その理由と時期について詳しく聞きたい。</p> <p>(2) この計画が実施されなくなったことにより、計画の中で対象となった施設は今後の利活用の可能性が狭められた。このことをどう認識しているか。</p> <p>(3) この計画で対象となった施設の今後の整備についてはどのように考えているか。</p> <p>(4) 公民館施設の中には、源地域生涯学習センターのように、地域の発掘資料など地域の宝ともいえる重要なものが、保存されているところもある。それらについては、今後どのように考えているのか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
21	
20 番 平 良 木 哲 也	<p>1. 実効性ある避難体制の構築について</p> <p>(1) 指定避難所について、次の点を明らかにされたい。</p> <p>ア 各避難所への避難者数や備蓄品の必要量の想定、初動対応職員の配置は十分か。</p> <p>イ 福祉避難スペースの在り方として、対象となる避難者の想定、場所の設定の仕方、備蓄品の種類と数量は、十分機能を発揮できるものになっているか。</p> <p>ウ 避難所の開設や運営に際しては、「上越市 避難所開設・運営マニュアル」に基づいて行われていると認識しているが、実際にその記載どおりに実行されているかなどの検証はどのように行われているのか。</p> <p>(2) 原子力災害時における避難行動について、原発事故の検証を行っている新潟県の検証委員会の避難委員会において、原発事故に地震が重なる複合災害の場合は「屋内退避」は困難であるとする論点整理が行われた。これを受けて、上越市地域防災計画の原子力災害対策編は大きく見直すべきと思うが、どのように考えるか。</p> <p>2. 地域医療と市内の病院の確保について</p> <p>(1) 病床削減を推進する医療法改正案が成立したが、この法の下で進められようとしている地域医療構想に対して、市としてどのように対処する考えか。</p> <p>(2) 県立柿崎病院を市が主体となって運営することを求められているが、昨年末以降の状況を明らかにするとともに、市として毅然とした県立病院としての機能維持を求める姿勢を改めて明らかにされたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
22	
9 番 宮 越 馨	<p>1. 子ども子育て政策について</p> <p>(1) 政府の「こども庁」創設に見る「こどもまんなか」の政策こそ時宜を得た政策であると思うが、地方自治体としての受け止め方を問う。</p> <p>(2) 私が提唱する「子ども年金」制度こそ、地方から実施する具体的な人口減少を止める方策にもつながり、子ども子育て政策の先進性の高い政策であると思う。実施の第一歩のための「第3子以降に月額5万円を支給」するとする新たなニーズ調査を行い、アクションを起こす姿勢を示すべき時であると考えているが、決意を改めて聞きたい。</p> <p>(3) 少子化は国も地方をも減ぼす最大の危機的要因である。大胆な人口政策はスピード感を持って動ける地方こそ出番である。ヨーロッパ先進国との比較では、子どもに関する公的支出は半分にも満たない。再び「子育てするなら上越市」のスローガンの下、全国への発信のためにも、「子ども年金」制度の実現は喫緊の課題と思うが所見を聞きたい。</p> <p>2. 大合併のガバナンス（行政統治）の在り方について</p> <p>(1) 市町村大合併から16年経過したが、いまだ合併のしこりが激しく残り、人口は減少の一途、地域の停滞など問題山積であるが、そもそもこのような大合併を進めた理念とビジョンはどうであったか、合併の根源的なところを改めて聞きたい。</p> <p>(2) そもそも本来、大合併の必然性はなかったはずである。当時の国家財政の在り方として、地方への財源移転を極力抑制しようとする思惑との関係で、大合併を進めさせられた側面は否定できない。そうした国の動きをどう受け止めていたのか、また、極めて違和感のある飛び地である中郷村までなぜ組み入れての大合併だったのか、その真意を聞きたい。</p> <p>(3) そこで、今更合併を元には戻せないという現実を踏まえるならば、これからの自治体のガバナンスの在り方を、根本から見直すべきと考える。今後のガバナンスの在り方を考えるに当たっては、私が市長時代に全国に普及させ、地方自治法まで改正制度化された副市長制を有効にいかすべきと考える。今後は地域内分権を進める形でのブロック制を導入し、頸北ブロック・東頸ブロック・名立ブロック・中郷ブロックにそれぞれ副市長を配置し、権限と責任そして財源を明確にしたガバナンスをしない限り、未来永劫に根源的な問題は解決しないと考えるが所見を聞きたい。</p> <p>(4) そもそも副市長制とは、自治体経営という視点に立って、行政の執行権を分任するシステムであり、「所管所掌」を定め、権限と責任を明確にして、市民本位の市政を運営する重要な職制である。今後は各ブロックの長に副市長を充て、スピード感を持ってガバナンス（行政統治）を行おうとすることは、最適な手法であると考えている。こうしたガバナンス体制について所見を聞きたい。また、この度このような重責を担う副市長が欠員になったが、副市長制度の趣旨からすると有無を言わず、現下の情勢からみても速やかに補充をすべきであると思うが、補充をしなかった理由をあえて聞きたい。</p>